

名古屋学院大学

CALLワークショップ開催のご案内

名古屋学院大学は1964年に開学し、その当時から経済学部の単科大学でありながら英語をはじめとする外国語教育に力を入れてきました。特に、LL教室をはじめとして、先進的な機器を利用した外国語教育の分野では大きな成果をあげてきています。1989年に外国語学部が開学し、全国でいち早くコンピュータを使った外国語教育のための教室（CALL教室）を設置し、英米語学科の必修科目で利用しました。併せて教材の開発にも取り組み、レーザーディスクをMS-DOSで制御し、画面上に画像とテキストデータを同時に提示するシステムを考案し、現在のCALL教材の先駆けとなりました。

2007年に名古屋市熱田区の新しいキャンパスが開設され、CALL教室もその中に設置されています。現在では外国語学部の必修科目の授業をはじめとして利用されており、洗練された教室の設計、誰にでも気軽に使える教室システムを目指して、日々実践を積み重ねています。

今回のワークショップでは、CALL教室での授業実践の方法を、高校・大学の先生方と共有し、明日からの授業実践に少しでも役立てることができればと思います。多数の先生方のご来校をお待ちしております。

➡ 日 時	2010年2月20日(土) 13:00～16:35 (12:30受付開始)
➡ 場 所	名古屋学院大学 名古屋キャンパス 日比野学舎4階402教室
➡ 受講対象	英語教育に携わる先生方、ほか(定員36名)
➡ 参加費	無料
➡ 主 催	名古屋学院大学 英語教育カリキュラムプロジェクト研究部会
➡ 協 賛	電子システム株式会社 チエル株式会社

プログラム

13:00～13:10	開会の挨拶
13:10～13:20	CALL設備紹介
13:20～14:00	授業実践発表(1) 「高校でもできる! 映画を活用した英語学習」 三重県立桑名高等学校……………近藤 泰城 教諭
14:00～14:40	授業実践発表(2) 「大学生を対象としたCALL教室での映画を活用した授業実践の紹介」 名古屋学院大学 外国語学部……………柳 善和 教授
14:40～15:00	動画学習ツール『ムービーテレコ』のご紹介 チエル株式会社
15:00～15:15	休憩
15:15～16:25	講演「CALLで何が変わったか」 なぜ学生はCALLに魅力を感じるのか、CALLによって授業がどう変わるのか、CALLを含めた授業を組み立てるのに何が必要か、15年間のCALL授業実践を振り返りながら提案します。 名古屋大学大学院 国際言語文化研究科……………尾関 修治 教授
16:25～16:35	閉会の挨拶

お申し込み方法

別紙のFAX申し込み用紙に必要事項を記入の上、**2月10日(水)**必着でお申し込みください。
e-mailでお申し込みの場合は次の項目をお知らせください。

- ①お名前(ふりがな)、学校名
- ②連絡先(学校住所、電話番号、FAX番号、e-mailアドレス)

※教室座席数の都合により、定員は36名となっております。
定員を超えるお申し込みをいただいた場合、お断りのご連絡をさせていただきますことをご了承ください。

お申し込み・お問い合わせ先

チエル株式会社 第一プロダクトマーケティング課 担当: 加藤(かとう)・三木(みつぎ)
TEL: 03-3748-9611 FAX: 03-3748-9620 e-mail: call@chieru.co.jp

交通案内



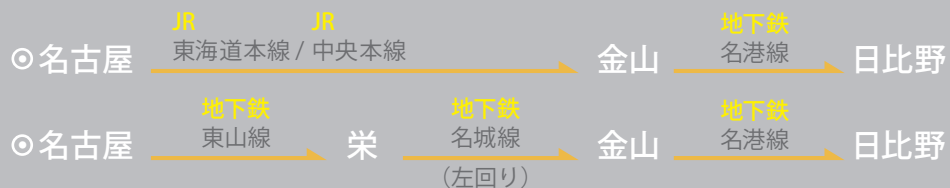
➔ 名古屋学院大学 名古屋キャンパス 日比野学舎

〒456-0062 名古屋市熱田区大宝 3-1-17

名古屋市営地下鉄名港線

日比野駅 5 番出口 (直結)

名古屋からお越しの場合



昨年度開催のワークショップの様

ソフトテレコを使った
シャドーイング体験



CALLの活用についての
授業実践報告

内容に関する お問い合わせ

名古屋学院大学外国語学部 柳 善和 (e-mail: yanagi@ngu.ac.jp)

〒456-8612 名古屋市熱田区熱田西町 1-25 <http://www.ngu.jp/>